

令和2年度（2020年度）行政評価シート【個表】

令和 2 年 8 月 18 日

評価対象事業		評価者	議事調査課長	谷川 宏
議会-03	実施事業	議会事務	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課 議事調査課
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課 議会総務課
総合計画上の位置付け	分野	市民自治	施策の方針	市民自治

1 事業の目的

対象	市議会議員等
意図	市議会の円滑な運営 市議会の機能の強化のため。
効果	市議会の円滑な運営と活性化を図る。

2 令和元年度(2019年度)に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> <li>・議会運営に係る議事・調査事務を執行した。</li> <li>・各常任委員会において行政視察を実施した。</li> </ul>
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	30年度(2018年度)決算	01年度(2019年度)決算	データ区分	02年度(2020年度)当初予算	備考
人口等のデータ	人口	176,308人	人口	176,608人	・各年3月31日 (住民基本台帳)
	世帯数	81,763世帯	82,444世帯	世帯数	
運営資源状況	事業の対象者数		事業の対象者数		
	決算値(千円)	2,202	3,016	当初予算(千円)	15
	国県支出金			国県支出金	
	地方債			地方債	
	その他			その他	
	一般財源	2,202	3,016	一般財源	15
事業経費運営	人員配置数	0.1	人員配置数	0.1	
	人件費(千円)	781	805	人件費(千円)	797
	総事業費(千円)	2,983	3,821	総事業費(千円)	812
	市民1人当りの経費(円)	17	22	市民1人当りの経費(円)	5
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)	

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、ブルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、ニーズに応じて実施する事業ではない
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいのか	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、廃止・休止はできない
有効性	事業の成果は得られているか	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、成果を計ることはなじまない
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいのか	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-2. 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
		△-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施
		協働実施済の場合のパートナー
事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒	見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他
		見直しの内容 事業へ統合
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 政策形成機能の強化に向けて、現状の事務局体制を維持するため。
	総評(評価に対する考え方、根拠等)	・二元代表制の一翼を担う議会は、議事・議決機関として予算、条例、重要な契約などについて、市の団体意思を決定するとともに、執行機関の市政運営を監視し、事務執行をチェックする役割を果たしてきた。今後も市の重要な政策形成において地域特性や市民ニーズを反映するため、議会の機能維持を図っていく。 ・引き続き、議会の政策立案機能の強化を目指していく。

令和元年度(2019年度)事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議会改革の取り組みの一つである、各党派から出された議会運営に係る検討項目を協議する。中期検討項目(平成30年12月まで)のうち終了していない7項目及び長期検討項目(令和元年8月末まで)8項目を終了させるよう議会運営委員会のスケジュール管理をする。</li> <li>・各党派から出された検証内容を踏まえ、議会基本条例の検証を行う。</li> <li>・議会報告会から出された市民意見を政策提言にまとめる。</li> </ul>	
課題解決のために行った令和元年度(2019年度)の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議会運営委員会を円滑に進めるための事前準備として、正・副委員長との協議調整、資料提供及びスケジュール管理を行い、検討項目については全ての項目の協議を行い、検討を終了した。</li> <li>・議会基本条例の検証については、令和元年11月に議会基本条例評価・検証協議会を設置し、令和元年度において協議会を2回開催した。</li> <li>・観光厚生常任委員会において「観光の視点から考えるユニバーサルなまち鎌倉」として提言をとりまとめ、市長へ提出した。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議会基本条例評価・検証協議会において、議会基本条例の検証結果の取りまとめを行う。</li> <li>・同協議会の取りまとめ結果を踏まえ、議会基本条例の改正を含めた検討を行う。</li> <li>・議会における政策立案機能の強化を図る。</li> </ul>	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	議会基本条例の制定状況								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	小田原市	横須賀市	逗子市	平塚市	南足柄市	
他市実績	○	○	○	○	○	○	×	×	

比較事項	議会基本条例の検証状況								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	小田原市	横須賀市	逗子市			
他市実績	○	×	○	×	×	×			

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣市において、議会基本条例を制定している市は多いが、本市以外で検証を実施している市は茅ヶ崎市議会のみであり、その他の市議会では、議員から検証・改正する必要性がないという意見があるなどの理由により、実施していないことであった。</li> <li>・令和元年度に設置した議会基本条例評価・検証協議会における検証結果を取りまとめた上で、令和2年度は条例改正を含む検討を進めていく。</li> </ul>
----------------------	---

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	単位	指標の傾向		備考				
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	
	目標値							
	実績値							
	達成率							
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方								